

# 農機展示予約会開催 ～コンパクトモデルが人気・最新型も続々～

2月5、6日の2日間JA全農かながわは田村事務所にて、協賛メーカー各社や各連合会・関連会社・関連団体の協力のもと、「2016冬 農業機械展示予約会」を開催した。県下JA組合員約2,183人（記帳者数）が来場した。

（株）クボタの担当者は、「神奈川県内では15～25馬力のコンパクトなタイプが売れ筋。25馬力以上の推奨モデルは今後規制に対応したタイプに切り替えていく。リーズナブルに設定してあるので、今日も見学者が多い」と語る。

ヤンマー（株）のブースでは、エンツォフェラーリのデザインを手がけた、「KEN OKUYAMA」デザイン最新型モデルのコンセプトトラクターに注目が集まり、試乗した組合員は「姿勢を変えずに操作できるようスイッチやレバーが配置されており、デザイン性だけでなく使用者の視点で作られている」と、感心していた。



各農機メーカーから新型農機が展示された



ミニ講習会「土壌診断のすすめ」を受講する来場者

毎回好評のメーカー担当者による「ミニ講習会」では、今回初となる「チップパーの安全講習会」や、「農機具の安全講習」「セルフメンテナンス方法」「鉄コーティング栽培技術」などが開催され、延べ248人が受講した。担当者は「前回に比べ、講習会終了後に『紹介された資材はどこで購入できるか』など、個別質問が多かった」と話し、盛況ぶりがうかがえた。

組合員向けの「中古農機販売会」は、出品45点のうち39点が成約した。

JA全農かながわの各部（農産、畜産、生活、施設）も出展し事業をPRしたほか、中央会・県信連・全共連・厚生連や関係会社等が出展し、JAグループ神奈川が一体となって会場を盛り上げた。